

趣旨説明

大学評価コンソーシアム

副代表幹事 浅野 茂

(山形大学 学術研究院)

皆さま、こんにちは。ただ今ご紹介にあずかりました、山形大学の浅野でございます。午前中、あるいは、昨日からご参加の方には、ある程度、お話とかさせていただけましたけれど、本日は全体会という形で、皆さん全員にお集まりいただいておりますので、私のほうから今回の趣旨などのご説明をさせていただきます。

まず、先ほど、小湊先生からもご説明いただきましたけれども、こちらのスライドにありますように、大学評価コンソーシアムの概要を簡単にまとめております。大学評価コンソーシアムは、2007年に九州大学様が呼び掛け人となってくださり、大学評価担当者が集う会としてほっそくしております。当時は20名ぐらいの、本当に小さな集まりだったわけですが、回を重ねるごとに参加人数が拡大していき、2009年に任意組織としてはありますが、大学評価コンソーシアムへと発展し、現在に至っています。

2017年8月22日現在の会員数は700名を超えているという状況です。また、登録いただいている会員の皆様の所属機関は229ということで、前年度比、大きく増加しているだけでなく、かなり多様な機関から、多様な職種の皆様にご登録いただいております。

次に、大学評価コンソーシアムの主な活動としては、これまで大学評価担当者集会というものを毎年1回、それから大学評価・IRをテーマにした勉強会、研修会というのを、不定期ですけれども、大体年に1回ぐらいのペースで開催してきております。

もう一つの特徴として、最近特に多くの皆様にご参加いただいている「IR実務担当者連絡会」があります。このイベントは年4回程度実施させていただいており、ここで発表いただいた内容の一部は、なるべく多くの方に共有できるよう『大学評価とIR』という情報誌に掲載いただいております。この情報誌は、コンソーシアムのホームページで、全て無料(PDF)で公開しておりますので、ぜひ機会があれば見ていただくと、特にIRと評価にフォーカスをしたような論稿が多数ございますので、ご参考になるかと思えます。

次のスライドですが、最近では評価を基本としつつ、米国のIRからも、評価のみならず、IRについてのいろんなことで学ぶことがあるのではないかとということで、関連するイベントを開催させていただきました。そういった経緯から、第10回目に当たる今回の大学評価担当者集会は、回の名称を改めて「大学評価・IR担当者集会」という形で実施させていただきました。したがって、この新たな名称での実施は、第1回目となります。

参考までにですが、今回初めて参加される方って、どれぐらいいらっしゃいますか。挙手をお願いできますでしょうか。

昨年よりも、初めてのご参加いただく方が多いですね。では、評価系の方で初めて参加いただいている方、どれぐらいいらっしゃいますか。次に、IR系で初めての方はいかがでしょうか。ありがとうございます。いずれも、多いという結果ですね。

毎回、このような形で参加状況をお伺いしている背景に、登録の際の情報のみでは判断しにく

いところがあって、我々も状況を把握するためにご質問をさせていただいております。今回は、全体で140名超の方から登録をいただいております、これまでで過去最高となっております。先ほど、お話いただきましたが、会員が700名を超えてきていますので、定員の関係上、かなり早めに定員が埋まったというようなこともございました。

今回、ご参加の140名の方の属性を教員と職員で分けると、8割の方が職員の方、2割の方が教員となっております。次に、所属別で見えていきますと、約半数が国立大学、1割弱が公立大学、次に4割ぐらいが私立、その他機関という形が1割ぐらいという構成になっています。所属機関の所在地をブロックごとに見ていくと、関東、次に近畿が3割割り超、次いで中部地方という形になっていっています。例年ですと、もう少し西日本ブロックが多くなっていましたが、今回、関東からもかなりの方にご参加いただいているような状況かと思えます。

次のスライドに遷移し、今回、そして本日、何をやるかのタイムスケジュールをご説明いたします。先ほど小湊先生も言及されましたが、昨日午後から、評価初心者セッションという形で、半日を使って先行実施してまいりました。本日の午前中に関しましては、こちらの一部の方にもご参加いただきましたけども、昨日の評価初心者セッションの後編に加えて、オプションセッションとして、これまでにいくつかアンケート等でいただいていた、学生調査の入門編、初歩的な統計講座を実施させていただき、現在の全体会に至っております。

本日の全体会以降のスケジュールについて、詳細は後ほど説明いたしますが、本日は5時25分まで、全体会を、この会場で実施させていただきます。その後に、大学評価コンソーシアムの総会、そして情報交換会を予定しております。ここまでの本日のスケジュールです。明日の最終日は、午前中と夕方までにかけて、評価・IRの実践・課題共有セッションをそれぞれの会場で実施させていただきます。本日も、趣旨説明をさせていただいた後、それぞれの会場に分かれて、グループ討論を行っていただき、その結果を、こちらで共有するというようなスケジュールを、組みわせていただいています。また、昨年まで、IRの初級講座のご要望もいただいておりますので、このセッションを個別に設けさせていただいています。いずれにしろ、明日の午前から午後にかけて、評価・IRを中心に、実践的なグループワーク等を行っていただくということを想定してプログラムを組みさせていただきました。

既にご存じの方もいらっしゃるかもしれませんが、初めてご参加の方も多いため、配布しておりますネームカードについて、補足させていただきます。ネームカードには属性に応じてシールを貼っていただいております。本日、司会の藤原さんの例を出させていただいておりますけれども、シールには、ご所属の機関の属性、職種であったり、従事されている業務などの属性、あるいは初めてご参加の方は、『初参加』を貼っていただいたりしています。グループワークであったり、情報交換会等であったり、自己紹介とかをしていただくときに、パッと見ると分かりやすいということで、3年ぐらい前から取り入れております。私の場合、国立大学、教員、IR、IEなど、年を追うごとにシールが多くなっていっていますが、該当すると思われるものを貼っていただくといいかなと思います。一部、厳格に今やっていることに限定するのか、あるいは、これまで関わってきたのがいいのかということで、お悩みの方もいらっしゃるようですが、ここはこだわらずに、ご自身で思いつくことを貼っていただくといいかなと思います。したがって、適宜貼っていただき、後々のグループワーク等で活用していただきたく存じます。

以上で趣旨説明を終了させていただきます。ありがとうございました。